

編集後記

会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。ここに、京都大学土木会会報No.62をお届けいたします。本号の編集にあたりましては、会員の皆様より多くのご寄稿を賜り、無事に発行の運びとなりました。皆様のご支援、ご協力に対し、幹事一同、心より感謝申し上げます。会報No.60以降、SDGsの一環として、冊子体での送付を取りやめ、京土会ホームページでの公開に切り替えました。この変更以降、会員の皆様からの寄稿数は増加傾向にあり、No.62では44件もの貴重なご寄稿を頂戴いたしました。ご推薦、ご寄稿いただきました会員の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。また、本年6月には、役員会および総会を昨年同様に対面とオンラインのハイブリッド形式で開催させていただくことができました。総会には100名を超える会員の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。総会後には、百周年時計台記念館国際交流ホールⅢにて懇親会を開催し、和やかな雰囲気の中で貴重な情報交換と交流のひとつとなったのではないかと考えております。

総会以降の活動につきましては、京土会では毎年恒例の新入生歓迎会を実施しており、本年度も6月に無事開催することができました。さらに、学生会員の将来設計支援の一環として、卒業生との交流機会を提供することを目的に、座談会およびセミナーを6月および11月に実施させていただくことができました。これらの場においては、各業界でご活躍されている卒業生の皆様から、業務や経験に基づく貴重な情報をご提供いただき、学生会員にとって大変有益な機会となりました。多大なるご支援に感謝申し上げます。

川崎会長のご指導のもと、幹事一同、京都大学土木会の活動をさらに充実させ、発展的な活動の場を提供できるよう、尽力してまいります。今後とも引き続き、会員の皆様のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和6年度 幹事

原田 英治、安原 英明、田中 周平